

平成 24 年 e-地域連携推進事業報告書

今年度事業の概要

平成 24 年度の e-地域連携推進事業では、福島県湯川村の「人の駅・川の駅・道の駅「地域コンシェルジュ」システム構築事業」についての助成を実施した。同事業では、平成 26 年に開業を予定している「人の駅・川の駅・道の駅」を地域の観光交流拠点として、地域内周遊などを行うための情報発信の仕組みづくりを目的に、「地域の web ポータルサイト(会津のへそ)構築」に向けた資源発掘と構築、スマートフォンを活用した現地(事中)情報提供ツールである「指さしナビ～湯川村・会津坂下町」を作成した。

事業実施において地元の NPO 法人や大学、民間事業者などが参画して「人の駅・川の駅・道の駅」協議会を設置、平成 26 年の「人の駅・川の駅・道の駅」開業に向けて、コンテンツの充実や地域住民を巻き込んだ情報発信体制づくりなども進めていくこととなっている。本事業で構築したシステムなどを土台に情報発信体制を継続して構築、コンテンツ拡充などの動きを進めていく取組が地域への滞在時間増加、域内消費機会の増加などを通して地域経済循環、雇用増に寄与するものとなることを期待したい。

以下、同事業の成果概要について整理する。

■人の駅・川の駅・道の駅「地域コンシェルジュ」システム構築事業

事業名	人の駅・川の駅・道の駅「地域コンシェルジュ」システム構築事業
メインテーマ	人と地域をむすぶ「地域コンシェルジュ」
事業実施主体	「地域コンシェルジュ」システム構築事業協議会
構成市町村	福島県湯川村、福島県会津坂下町
関連団体	会津大学、会津短期大学、「人の駅・川の駅・道の駅」協議会

(1) 事業の背景と目的

a. 背景

会津地域は奈良、京都、鎌倉、平泉に並ぶ五大仏都のうちのひとつであり、徳一菩薩や弘法大師ら高僧ゆかりの仏像や名刹が数多く残り、千二百年以上の歴史を持つ会津仏教文化を目の当たりにすることができる地域である。

また、会津地域は、春の桜、夏の新緑、秋の紅葉、冬の雪景色といった四季のひとつひとつが際立ち、豊かな自然環境がそれぞれの季節を鮮やかに彩っており、豊かな自然と長い歴史、多彩な文化に彩られた独自の文化が現代に引き継がれた地域である。

湯川村では、会津坂下町と共同で、阿賀川と国道 49 号が交差する宮古橋周辺（湯川村佐野目地内）に、人が集い賑わう拠点として「人の駅・川の駅・道の駅」を整備していきたいと考え、国、県の協力をもらいながら、平成 26 年開業を目標に進めている。

湯川村、会津坂下町では、「人の駅・川の駅・道の駅」の開業にあわせて、本地域の資源を活かした活性化の機運も盛り上がりつつある。

しかし、近年、両町村の主要観光地においても、観光客が減少した状況となっており、個別市町村での取り組みでは、会津地域の広域観光の推進、地域ブランドの確立という点も難しいため、「人と地域をむすぶ「地域コンシェルジュ」」というテーマで連携して取り組むこととした。

b. 目的

「人と地域をむすぶ「地域コンシェルジュ」」について地域で連携した情報発信による地域づくり、観光振興に取り組むため関係市町村及び NPO や民間企業、大学などと連携して道の駅を中心とした「会津のまちあるき」についての情報提供を行うこととする。

会津地域には、「勝常寺」、「立木観音」、「鶴ヶ城」といった多くの観光資源があるが、それ以上に観光客に知られていない様々な地域資源が眠っている。

各種 ICT を活用し、町村の枠を超えて地域資源の掘り起こしを行い、それら地域資源を複合的に組み合わせたまちあるきの観光ルートの確立を図る。

会津盆地の真ん中に位置する立地条件を生かし、会津地域の経済規模拡大、地域活性化につなげる入り口として、会津地域の至る地域に人の流れを誘導するなど、その効果を最

大限に発現し得るような拠点づくりを進めていく。

そのため、WEB ポータルサイトでの情報発信による誘客、スマートフォンアプリを活用したまちあるきサービス、観光パンフレットでの情報提供などを目的とする。

＜災害からの復旧に向けて＞

平成 23 年 3 月 11 日に発生した「東日本大震災」により、家屋や公共施設など多くの建物が被害を受け、農業や観光などの事業に深刻な被害が出ている。湯川村においては、「特定被災地方公共団体」の認定を受けている。

また、会津地域の経済は原子力発電所事故の影響により、放射線数値は低いものの、風評被害により、製造業をはじめ、本地域への基幹産業である農業や観光産業に甚大な影響があり、極めて深刻な状況となっている。

そのため、風評被害を払拭し、地域振興や農業振興、観光振興のため、WEB ポータルサイトや観光パンフレットなどを通して、会津地域の魅力を外部に発信していく。

(2) 事業の内容

湯川村と会津坂下町とで「人と地域をむすぶ「地域コンシェルジュ」」をテーマに、地域連携し情報提供の一元化を目指し、4つのサブテーマでコンテンツを整備する。

地域の共通テーマに即した観光情報や地域固有の情報などを掲載し、地域ブランドとしての会津地域の魅力を広く発信する WEB サイトを構築する。

また、スマートフォンからのアクセスにより、旅行中に必要な情報の入手やご当地情報に対するコメントや写真が登録できるよう環境を整える。

事業内容

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">① 「地域コンシェルジュ」システム構築事業協議会の構築② 湯川村・会津坂下町共通 WEB ポータルサイト(WEB サービス)の構築③ 地域共通プラットフォームへのコンテンツ提供(作成、登録)④ 実証実験事業 |
|--|

(3) 事業実施体制

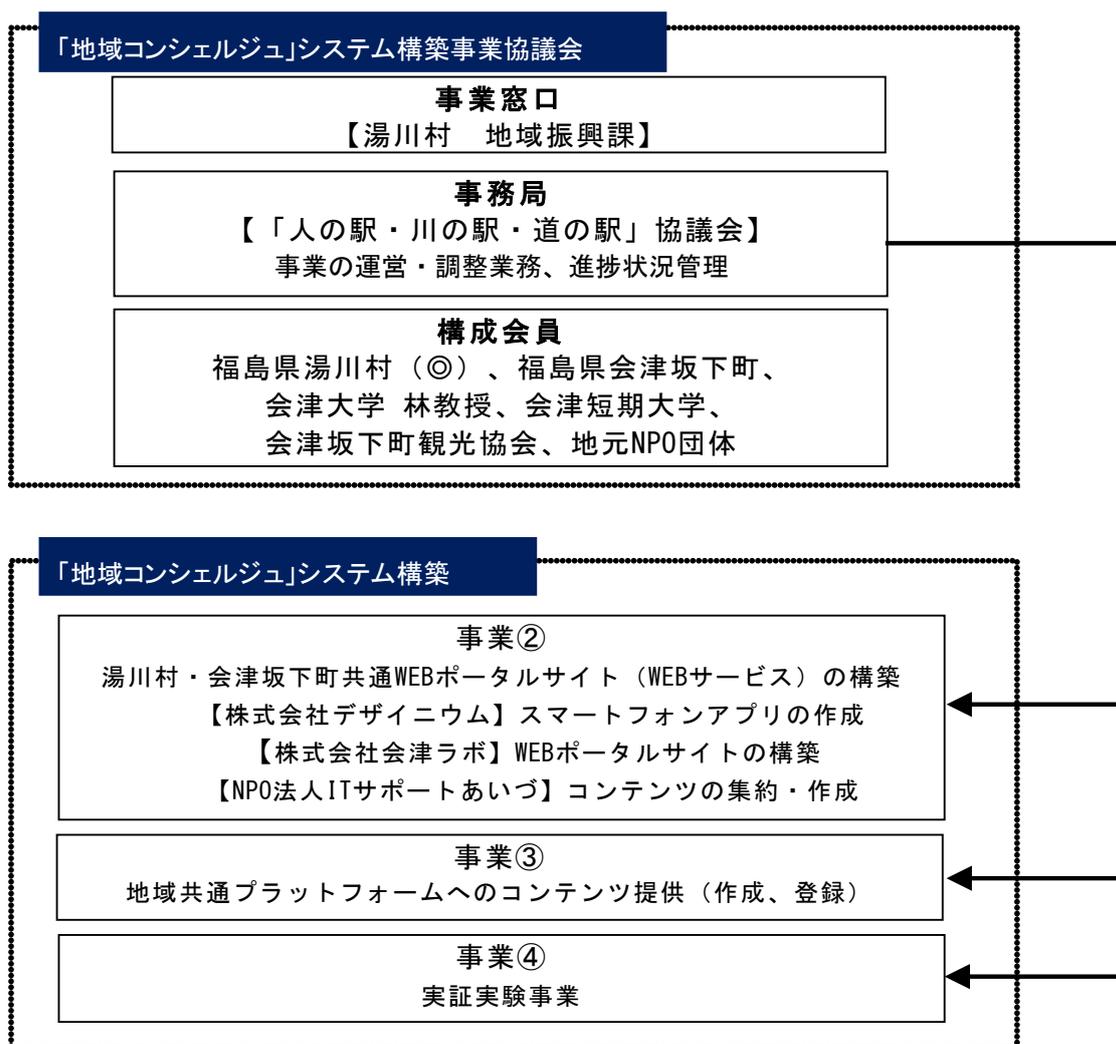
福島県湯川村、福島県会津坂下町、会津大学、会津短期大学、会津坂下町観光協会、地元 NPO 団体で「地域コンシェルジュ」システム構築事業協議会を構築し、湯川村が窓口となり事業を実施した。庁内での連携体制としては、関係各課との横断的な取組を円滑に行うため、適宜打合せを実施した。

外部との連携については、「人の駅・川の駅・道の駅」協議会が事務局となり、福島県湯川村、福島県会津坂下町、会津大学、観光協会等と連携を行った。

「地域コンシェルジュ」システム構築事業協議会が中核となり、町村の枠を超えて、地域情報を発信していく枠組み作りを行った。

福島県湯川村、福島県会津坂下町、観光協会、地元 NPO 団体でコンテンツの調査・制作を行い、会津大学をアドバイザーとして地元 ICT 企業が WEB ポータルサイトの構築、スマートフォンアプリの作成を行った。

事業実施体制



(4) 事業スケジュール

事業内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
①協議会の構築・運営	○ 設立総会	○ 企画検討	○ 計画決定	○ 進捗確認			○ 進捗確認	○ 進捗確認	○ 結果報告	
②地域WEBサイトの構築・運用			← 計画/設計 →			← システム構築/デザイン/コンテンツ →			← テスト →	← 運用 →
③地域共通PFへのコンテンツ提供			← テーマ/サブ テーマ検討 →	← コンテンツ 内容検討 →	← 情報収集 取材 →		← コンテンツ作成 →	← 登録・確認 →	← 事業終了 →	
⑤実証実験の実施・フィードバック			← 計画/設計 →			← システム構築/デザイン/コンテンツ →			← 実証実験/ フィードバック →	

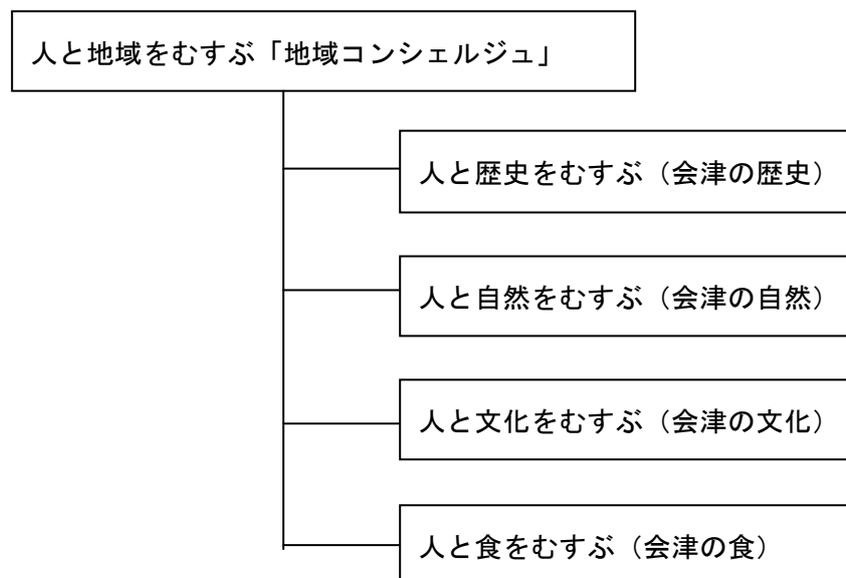
(5) 事業の成果

a. テーマ・サブテーマ

<テーマ・サブテーマの開発>

会津地域は奈良、京都、鎌倉、平泉に並ぶ五大仏都のうちのひとつであり、豊かな自然と長い歴史、多彩な文化に彩られた独自の文化が現代に引き継がれた地域である。

その会津地域の魅力を伝えるため、メインテーマを「人と地域をむすぶ「地域コンシェルジュ」」とし、地域連携をベースに以下の4つのサブテーマを核として、コンテンツの作成整理を行い、情報発信を行っていく。



＜テーマによる地域連携の成果＞

福島県湯川村、会津坂下町では、「人の駅・川の駅・道の駅」の整備について、共同で事業を行っているが、本事業では、地域資源の掘り起こし、地域資源の活用について、さらに連携を深め、各町村の枠を超えて情報と人的交流が生まれ、共通財産として情報の共有化が行われた。

新たな地域資源を活用した WEB ポータルサイト、スマホアプリを整備し、「まちあるき」の新しいモデルの提唱・開発を行った。町村のキャラクターが道案内をしてくれるスマホアプリで「まちあるき」をしながら、自分の行動がアプリに反映され、周辺地域の文化や自然を楽しむことができる。

今後の運用により、会津地域の各市町村や県内の各市町村においても広めることが可能である。

b. コンテンツ

＜連携による地域資源の発掘＞

会津短期大学、会津坂下町観光協会、地元 NPO 団体等との連携により、多くの観光資源が収集された。とくに、会津短期大学の学生によるまちあるきの中では、多くの地域資源の掘り起こしが行われ、その地域に長年住んでいる住民では見落としがちな見慣れた風景、文化の中においても、新たな地域資源が眠っていることが確認された。

多くの観光資源、地域資源の情報が集約されているが、引き続き、情報の充実化を図っていく。

また、今後、集約された情報の整理を行い、モデルルートの企画・造成を実施していく。

会津短期大学との連携



●「冷やしラーメンでまちおこし」スタンプラリー

本事業で発掘されたコンテンツである「冷やしラーメン」を活用した夏季限定のキャンペーンを実施した。

スマートフォンアプリ「指さしナビ～湯川村・会津坂下町」使い、「冷やしラーメン」のお店9店舗に設置されたQRコードを読み込む、スタンプラリーを実施した。

あわせて、「指さしナビ」で湯川村・会津坂下町の観光情報を発信した。

地域資源を活用したまちあるきシステム「指さしナビ」の実証実験を行った。



●「湯川・会津坂下道の駅ふれあいフェスタ」 BINGO

道の駅 PR イベント「湯川・会津坂下道の駅ふれあいフェスタ」の開催にあわせて、湯川村・会津坂下町の魅力あるコンテンツを巡り、名所 6 箇所に設置された QR コードを読み込む、ビンゴを目指すイベントを実施した。ビンゴ数に応じて、地元産の産品をプレゼントした。

あわせて、「指さしナビ」で湯川村・会津坂下町の観光情報を発信し、まちあるきを楽しんでもらった。地域資源を活用したまちあるきシステム「指さしナビ」の実証実験を行った。

また、「指さしナビ」の PR のため、イベント会場での「文字ならべ」、「ミニゲーム」を実施した。



●6次化産品発表会

道の駅 PR イベント「6次化産品発表会」の開催にあわせて「指さしナビ」を使って、6次化メニューの紹介ムビーを配信した。

湯川村・会津坂下町で、地元産の農産物を使った産品開発に取り組む団体について、開発している人たちの人物像にスポットを当て、地域の魅力を伝える生の声を掲載した。

あわせて、「指さしナビ」で湯川村・会津坂下町の観光情報を発信し、まちあるきを楽しんでもらった。地域資源を活用したまちあるきシステム「指さしナビ」の実証実験を行った。



6次化産品発表会チラシ



<事前情報>

事前情報としては、湯川村・会津坂下町「人の駅・川の駅・道の駅」WEBポータルサイト「会津のへそ」を開設した。

WEBポータルサイト上では、「人の駅・川の駅・道の駅」の情報に加えて、湯川村、会津坂下町の観光情報や地域情報を掲載し、地元が薦める会津地域の魅力を広く発信していく。

静的な情報のみでなく、公共性やリアルタイム性を考慮し、ブログ等を通じて、動的に情報を発信していく。

今後は、「Twitter」、「Facebook」の活用についても検討していく。

WEBポータルサイト「会津のへそ」

湯川～坂下観光情報
会津のへそ! ・施設案内 ・アクセスマップ ・パンフレット ・関連リンク ・お問い合わせ

湯川村と会津坂下町がむすぶ
新しい道の駅の形

へそふるぐ | 観光すぽっと | イベントカレンダー | 写真と映像アーカイブ | 特産品の販売

湯川～坂下観光情報
会津のへそ!

2014.07
FACILITY OPEN
施設案内

道の駅-駅舎が405
へそふるぐ更新情報

- 2013年3月25日(月)
会津のへそ!
立木観音(恵隆寺)
会津こけり三輪堂の一つ。国重要文化財で総高8.5mの巨大な千手観音立像。立木に道標関りこんだといわれる一本杉。[続きを読む]
- 2013年3月25日(月)
会津のへそ!
中野竹子の墓/法界寺(ほっかいじ)
中野竹子は、瓜原野戦において最後の最後まで戦うことを誓い、種刀を手に真敵に戦った女性です。山車(新島)八重と同。[続きを読む]
- 2013年3月25日(月)
会津のへそ!
坂下ドライブインの馬刺し(桜さしみ)
夕食の1品に坂下ドライブインから馬刺しを買ってきました。今日はちよと賢治にちよとヒシの食べ比べをやってみました。[続きを読む]

@hesoizu からのツイート

Facebook

旅してませんか?
湯川村と会津坂下町のご当地マップが道の駅も経由して二つの町村も案内してくれます
無料アプリ
詳細を見る

お問い合わせ

ページトップへ

会津坂下町 湯川村

<事中（現地）情報>

事中（現地）情報として、スマートフォンアプリ「指さしナビ～湯川村・会津坂下町」を作成し、現地の情報が入手できるようにした。

「指さしナビ」は、単に目的地までの道案内を行うのではなく、目的地までの移動を楽しむ「まちあるき」のためのツールである。

「指さしナビ」では、地域を訪れた他の来訪者のコメントや投稿された写真を閲覧でき、投稿された写真等により、その地域のその時期以外の情報を得ることもできる。

今後、「指さしナビ」の利用者が増えることで、蓄積される情報も増加し、より充実したものとなるっていく。

「指さしナビ～湯川村・会津坂下町」操作画面



また、「指さしナビ」の機能と、AR技術を組み合わせて、史跡を3Dで表示する。現在、跡しか残ってない場所に、スマホアプリを通じて目の前の景色に当時の様子を再現する。

地域情報の整理を行い、パンフレットを作成し、スマートフォン以外に紙での情報提供方法についても整備を進めていく。

「指さしナビ～湯川村・会津坂下町」操作画面 (AR)



<事後情報>

事後情報としては、WEBポータルサイトのブログ機能を使い、イベント前にはイベント情報を随時発信し、イベント実施後、イベント等の様子をブログにアップし、リピーターやこれから来る来訪者にPRを行う。

また、地域と来訪者との交流が可能になるように「Twitter」や「Facebook」を活用し、この地域を訪れた来訪者の生の声が掲載されることで、地域への関心が高まり、来訪してもらいやすい環境を整備していく。

c. 地域共通プラットフォームへのコンテンツ提供

コンテンツの登録一覧は、以下のとおりである。

湯川村、会津坂下町の観光地や魅力的なスポットを共通プラットフォームに登録している。

外国語表記については、十分な検討が必要なため、来年度以降の課題とする。

サブテーマ	コンテンツ					
	動画	静止画	テキスト (事前)	テキスト (事中)	音声	
人と歴史をむすぶ(会津の歴史)	29	0	29	29	0	0
人と自然をむすぶ(会津の自然)	16	0	16	16	0	0
人と文化をむすぶ(会津の文化)	30	0	30	30	0	0
人と食をむすぶ(会津の食)	31	0	31	31	0	0

d. ucodeQR の活用・多言語化

地域情報の整理が十分に行えなかったため、パンフレットを作成しておらず、ucodeQRについても十分に利用できる体制を整備できなかった。ucodeQR の活用については、来年度以降の課題とする。

(6) 今後の展開

a. 事業の継続について

コンテンツの更新については、「人の駅・川の駅・道の駅」協議会が主体となって、各関係機関と連携して実施する。また、地域住民を巻き込んだの体制づくりを進め、日々、コンテンツが更新され、随時情報が発信されるようにする。

「Twitter」や「Facebook」を活用し、この地域を訪れた来訪者の生の声が掲載されるようにしていく。

平成 26 年度の「人の駅・川の駅・道の駅」開業に当たっては、道の駅運営会社にて WEB ポータルサイトの維持管理を行っていく。開業までは「人の駅・川の駅・道の駅」協議会にて維持管理を行う。

b. コンテンツの充実

観光情報、地域情報の整理を行い、モデルルートの企画・造成を実施し、パンフレットの作成を行う。また、ユビキタス共通プラットフォームとの連携を図り、WEB ポータルサ

イトと連動させる。

WEB ポータルサイト、スマートフォンアプリ、パンフレットと、幅広く情報を発信できるよう進めていく。

また、外国人の対応を含めて、パンフレット等の多言語化についても、今後取り組んでいく。